



オーガニック・エコ農と食のネットワーク (NOAF)
プロジェクト

有機農業技術・地域力向上 プロジェクト

NO-RA ～農楽～
千葉 康伸



自己紹介

名前：千葉 康伸
NO-RA ～農楽～ 代表



- 2008年 高知県で2年間有機農業研修
- 2010年 神奈川県愛甲郡愛川町で新規就農
- 2013年 NPO法人有機農業参入促進協議会理事就任
- 2014年 研修生を受け入れ開始
- 2016年 NOAF 幹事就任
AIC 横浜校圃場専任講師就任

現状 耕作面積 2.7ha（露地） 年間50種類栽培



背景 1

おおむね平成30年度までに日本の耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を「1%」まで増やすという目標を掲げているが、なかなか増加しない。
(平成27年度で約0.6%)

有機農業を志す新規就農者や慣行栽培からの転換希望者は多いものの、有機農業技術が不足して定着できないケースがある。



背景 2

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催に当たり、諸外国の事前キャンプが日本各地の自治体に誘致。

キャンプを誘致した自治体では、地元で生産された食材を中心にキャンプ中の選手へ提供されることとなり、アスリート食がオーガニック化している今日において、高品質な有機農産物に対する需要が高まることが想定。



プロジェクトでやりたいこと

- 1 当該地域の有機農業者や有機農業を志す生産者に対して技術指導を実施し、**有機農業技術を向上**させ、生産物の品質向上を図り、キャンプ地を中心とした技術の普及を図る。
- 2 地域のレストラン等と連携し、キャンプ提供特別メニューの開発に向けた生産者とのマッチングを行うとともに、オリパラ大会“後”においても、特別メニューを活用した**地域活性化**に繋げる。

今やっていること

神奈川県小田原市での活動

小田原市・箱根町・大磯町（+神奈川県）は、
エリトリア国、ブータン国の事前キャンプ地。

これをきっかけとして、小田原市を中心とした地域の有機農業技術の向上を図るべく、小田原市や小田原市内の有機農業者と連携を開始。



平成27年9月エリトリア国との事前キャンプに関する協定締結式（小田原市HPより）

ゆくゆくは・・・小田原市の事例を各地に横展開

オリパラをきっかけに 地域を盛り上げましょう！

我々のリソース
〈有機農業技術指導〉



山下一穂
(山下農園)



千葉康伸
(NO-RA～農楽～)

〈料理提案〉



新田美砂子
(コートヤード/食と農コンサルタント)

〈イベント提案〉



田中慶一
(JTBコーポレートセールス)



プロジェクトにご協力ください！

- ・ 事前キャンプ地の自治体の方
- ・ 地域の有機農業技術を向上させたい方
- ・ 地域を活性化させたい方

代表者：NO-RA～農楽～代表 千葉康伸
メールアドレス：no_ra0077@ybb.ne.jp